

◆ 議案を読む会

8月25日(日)10:00~12:00
@コミュニティスペース くるり

◆ 9月議会予定

9月2日(月)~9月24日(火)
傍聴しよう! インターネット配信もあります。

◆ まちかどカフェ&9月議会報告会

岩崎さゆり市議から市政の報告を
10月12日(土)13:30~
@旭地区センター 予定

イベント案内

田んぼの生き物観察会

7月27日(土) 7:30~9:30
参加費:大人 300 円、子ども 100 円
主催: なまず田んぼ米(まい)の会
場所等問合せ・申し込みは↓
namazutanbomai.no.kai@gmail.com

ぽっかぽかの会

子どもの病気や障害のことなど、親同士で情報交換や共有し合うお話し会
7月27日(土) 13:15~15:00
川藤自治会館(武輝神社前) 参加費100円
問合せ sayur.ing.iwasaki@gmail.com

防災講座

「首都直下型地震の基礎知識」
~自分の命は自分で守る~
講師 二崎博美氏
(NPO 法人埼玉県防災士会理事)
【予定】10月24日(木) 13:30~15:30
市民交流センターおあしす ミーティングルーム4
参加費 無料
問合せ:okyon327@yahoo.co.jp
会場確認等、念の為ご連絡ください

◆ 皆様からのご意見・ご感想

ご入会希望等お問合せはこちら!
MAIL: yoshikawa.shimin.net@gmail.com
FAX : 048-983-1835

ポスティングボランティア募集中♪
ご寄付のご協力もお待ちしてます!
ゆうちょ銀行 038 普通 7744921

よしかわ市民ネットワーク

- 3つのルール
① 任期は最長3期 12年で交代
② 選挙はカンパとボランティア
③ 議員報酬はみんなの活動費

HP



3年目の「なまずナイト」★

生態系が豊かでないと存在できないナマズ。その産卵が見られる田んぼがまだ吉川市には残っていることが分かり、観察を始めた『なまずナイト』の企画。

今年は4月29日に田んぼでの観察、5月12日に講座と観察を行いました。今までの経験を基に、用水から田んぼに水が入る時に川からナマズが産卵しに来るようだとこのことで日時を決定しています。



講師は大学院で農地の魚類生態系を研究してきた吉川愛いっばいの地引氏。今年には社会人になって忙しい中での企画でした。

去年は、初日に産卵に立ち会えて子どもも大人も歓声を上げましたが、残念ながら今年は、開催時間中には産卵に出会えませんでした。また2日目に発見できたナマズやザリガニ、ホウネンエビの稚魚も、去年より少なかったです。

継続に意義がある!

観察後、講師は「発見できなかったことも一つの成果で、どんな状況が揃うと産卵するのかということを知る手掛かりになる」と解説されました。単純に一喜一憂するのではなく、継続して観察し、そこから発見・解明していくのが研究者なのだ改めて気づかされました。

今年には関西から大学名誉教授や田んぼソムリエの方も参加されました。また、前回参加した小学生が独自の観察も始めていて、今回それを披露してくれました。拡がっていく『なまずナイト』! 来年はどんな出会いがあるか楽しみです。(MI)

※観察会のあと2時間くらい遅い時間に仲睦まじい産卵の様子が目撃されたそうです(^)/



※地主さんの許可を頂いて活動しています

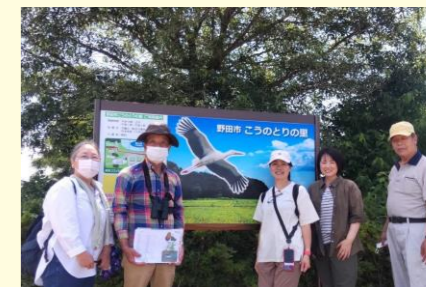
岩崎さゆりの活動記録



岩崎さゆりの連絡先
070-1187-3828
sayur.ing.iwasaki@gmail.com



よしかわ市民ネットワークは岩崎さゆりを市議会に送っています



子ども達の健やかな心と体の成長のために

6月議会 岩崎さゆり 一般質問



市議会議員 岩崎さゆり

登下校時の荷物の負担軽減を

小学校低学年の保護者から「子どもが学校から帰ってくると、腰や背中がとても痛いと言っています。持ち帰る荷物の重さは軽減できないのでしょうか」と相談がありました。荷物の重さは手提げなど平均すると毎日7kg前後。また熱中症対策の為、大きな水筒が欠かせません。教科書のデジタル化が国のスケジュールに合わせて進んでいますが、現在、タブレット端末と教科書を共に持ち帰る為、その重さが負担となっています。市内小中学校では置き勉の推奨をしております、体力的に難しい場合は個別に対応するとしていますが、特に体の小さい低学年の児童にとって、荷物の重さは深刻で、心身の不調を引き起こす子どもも少なくありません。

早まる『ラン活』

ランドセルの購入のためにカタログを取り寄せたり、試着したりすることを『ラン活』と言うそうです。人気のものはすぐに売り切れてしまうこともあり、ラン活は早まる傾向にあります。「ランドセル以外の通学カバンも自由に選べることを、入学前の早い段階で知っていたら、選択の幅が広がる」と声が届きました。

通学カバンを自由に選択できることの周知を

現在、吉川市教育委員会は、ランドセルが学校指定でないことに対する通知はあえて行っておらず、問い合わせがあった際に対応している、との答弁でした。

千葉県習志野市の教育委員会では、通学カバンの自由化を求める要望に対し、「ランドセルが学校指定ではないことがより伝わるように、次年度の新入生保護者に対して、入学説明時等の資料を作成し、幼稚園・こども園・保育園にも周知するよう、各学校に通知した」とHPでお知らせしています。

このように入学前から周知することで、通学カバンを自由に選択する児童が少しずつ増えていくのではないのでしょうか。

登下校時の心身の負担が軽減され、子ども達が健やかに学校生活を送ることができるよう、対策が求められます。

オーガニック給食の推進を!

有機農産物を使用する『オーガニック給食』への関心が全国的に高まっています。今年5月に、市内の有機農業者が生産した玉ねぎが、吉川市学校給食センターで初めて使用されました。

オーガニック先進国と言われている欧米や韓国では、行政の公共調達により、有機食材を使う『オーガニック給食』が進んでいます。日本で、すでに有機食材を給食に取り入れている自治体は、食の安全を求める子育て世代の移住先として注目されています。また、オーガニック給食は地域経済の活性化にも貢献しています。

吉川市でも、子ども達の健やかな育ちのための、まちづくりの一環として、市内

保育施設で提供される給食や、食育で有機食材が使用されるよう求めました。





さゆりの毎日コツコツと

知っていますか？日本のジェンダーギャップ指数



【逞しく生き抜いたスーパーウーマンの貴重な肉声】

NHKの朝ドラ『虎に翼』。ヒロインのモデルとなったのが、日本初の女性弁護士にして、戦後に女性裁判官になった三淵嘉子さんです。

先日、その三淵さんが生前ラジオでインタビューに答えていた声を初めて聞きました。聡明に答えるハツラツとした語り口調。強さと柔軟さを兼ね備え、類まれな才能を發揮された方だったんだと感じました。男女平等とは程遠い時代に、三淵さんの切り開いた道は光となり現在につながっているとしみじみ思います。

【日本の女性を取り巻く環境に課題が山積】

6月に男女平等がどれだけ実現されているかを数値化・ランク付けした「ジェンダーギャップ指数 2024」が発表されました。

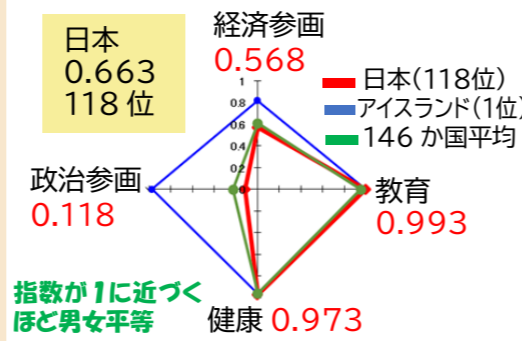
日本は146カ国中 118 位で、G7(主要 7 カ国)の中で最下位。東アジア・太平洋地域でも

18カ国中17位という大変残念な結果になっています。4つの分野で、男女の格差を数値化していますが、特に「政治」と「経済」分野でのジェンダーギャップが大きいことが分かります。

敗戦後、日本国憲法の誕生に伴い明治民法は大きく改正され日本は変わりました。しかし、衆議院の女性議員比率は約1割。女性の首相はゼロ。賃金格差、女性管理職比率の低さなど、世界的にみても多くの課題が残されています。

この結果を見て、女性が本来の力を發揮し活躍できる社会へ発展できるように、女性の声をこれからもしっかりと市政へ届けたい！と改めて思います。

日本のジェンダーギャップ指数 2024年



よしかわ市民ネットワーク会員 M 吉川で農と出会う ②

生産者につながる

顔が見える生産者

吉川では、農業者と消費者の距離が近い良さがあると思う。JA さいかつ吉川直売所「フレッシュファーム」に並べられた吉川産の野菜には生産者のお名前が入っている。店内には生産者の写真もあって親しみとありがたみが湧く。

昨年、米作り体験の会に入ったら、市内の農業者の方を知る機会ができた。先日も、フレッシュファームに美味しそうなベビーリーフが並んでいたの



お名前を見たら、会に足踏み脱穀機を貸して下さった方だった。生産者を少しでも知ると、野菜を買うのも、料理するのも楽しさが増す。

吉川で新規就農！

市内で新規就農された若い方たちがおられる。この春、住まいを都内から吉川へ移された方もいる。市内のベテランの農業者が技術支援に係ったり、地元の方が農地を探したりと、まわりの熱意も大きかったようだ。2回ほどお会いする機会がありお話を伺った。いきいきとして、意欲的な方たちだった。

吉川で自立して安定的な営農を続けていかれるよう、私たちも応援したい。市内に地域の農産物を循環させる仕組みを作り、地産地消をより進めることが大切だと思う。生産者と交流する機会もほしい。

梅雨が明けたらもう夏だ。きっと作物はエネルギーに育ち、雑草もぐんぐん伸びるだろう。大忙しの季節がやってくる。今度畑の場所を教えてもらって、様子を見に行ってもいいかしら。(m)

イベント紹介

講演会: 祖父から聞いた対馬丸事件とは、戦争とは？ 中野智さん (俳優 吉川市在住)

◆毎年8月に開催されている「平和のための吉川・戦争展」。実行委員会の方に紹介していただきました

太平洋戦争中の昭和19年(1944年)8月、沖縄から長崎に向かっていた学童疎開船「対馬(つしま)丸」は、アメリカ軍潜水艦の魚雷攻撃を受け沈没しました。犠牲者はおよそ 1500 人。その半数以上が疎開学童でした。海に投げ出され、溺れて苦しむ子供や人、人。悲惨な状況下で奇跡的に助かった人の中に、船員の中島高男さん(当時17歳)という方がいました。吉川市在住でしたが、事件について口をつぐみ続けていました。

その理由は、事件後「沈没について話したら死刑」と憲兵から脅されていたからでした。長年心の傷にも苦しみ続けました。しかし、対馬丸三十三回忌慰霊祭参列を経て、ようやく自らの体験を中学生(当時3年生)の孫に語る事ができたそうです。中島さんは、2018年91歳で亡くなりました。

そのお孫さんの中野智(さとし)さんは、無名塾出身の俳優として、またドキュメンタリー映画

プロデューサーとしてご活躍されています。吉川市在住で、吉川小・南中出身の43歳。中野さんは、対馬丸事件をもとにしたドキュメンタリー映画『満天の星 一星になった子ども達へ』を制作し、今年8月に沖縄で開かれる対馬丸慰霊祭の日に那覇市内にて特別試写会を開催します。また、戦禍のウクライナ訪問や、ベトナムのドクちゃんのその後を描いたドキュメンタリー映画への協力の経験もあり、それも踏まえて、「祖父から聞いた対馬丸事件とは、戦争とは…？」を語って頂きます。(YT)



奄美大島沖 東シナ海を臨む

◆8/18(日) 平和のための吉川・戦争展
市民交流センターおあしす多目的ホール
講演: 13:30~ ※10:30よりアニメ上映もあります
主催 平和のための吉川・戦争展 実行委員会

傍聴席より

よしかわ市民ネットワークの代理人 岩崎さゆり市議の一般質問を傍聴しました。

今年3月から、市の3歳4ヶ月児検診に、目の屈折検査機器「スポットビジョンスクリーナー」が導入されました。弱視の子どもは 1~2%存在し、早期に発見し治療すると回復するそうです。成長してからの回復は難しく、早期発見がカギとなるようでした。話を聞き、3歳4ヶ月児検診にこの検査を導入したことは、とても合理的だと思いました。

岩崎さんは、この検査について、市民への周知のしかたや、再検査が必要な小児の保護者への対応等の質問を行いました。他市で、この検査について HP で詳しく説明している例なども紹介しながら、市民、とりわけ小児の保護者に、この検査の目的と意義を周知することの大切さを訴えました。再検査が必要になったとき、保護者が必ず再検査に行ってくれるような通知のしかたやフォローアップについても要望していました。

早期発見・早期治療、「今でしょ!」ということが保護者にきっちり伝わると、検診のシステムが、一層血の通った暖かいものになると思いました。(m)

2023年度 よしかわ市民ネットワーク 決算報告 (2023年1月~12月)

I 一般会計 (収入の部) 単位:円		
項目	決算額	備考
会費	67,500	会員の皆様から頂いた会費
寄付金(個人)	386,082	
寄付金(団体)	2,877,248	代理人からの寄附
受取利息	625	普通預金、定期預金
繰入金	2,000,000	特別会計より
前期繰越	255,157	
合計	5,586,612	

〈支出の部〉 単位:円		
項目	決算額	備考
人件費	539,000	事務局、代表、会計、編集、渉外
活動費	214,000	運営委員会、機関誌作業、外部会議
事務所費	78,119	事務所家賃、切手代、振込手数料、等
備品消耗品費	86,023	封筒・ラベル用紙、コピー・インク代、等
企画運営費	138,250	イベント企画等
交通費	12,844	
機関紙発行事業費	838,786	生き活きレポート発行費 全5回
宣伝事業費	131,517	看板、幟、ホームページ編集
調査研究費	97,308	研修参加費、交通費、書籍代、等
寄付金	2,140,311	岩崎さゆりと生き活きクラブ選挙費用 200万円、埼玉県ネット分担金、選挙陣中見舞金
諸会費	52,500	埼玉県ネット会費、他
公租公課	458,740	代理人国民健康保険税、国民年金保険料
積立特別会計繰入	348,243	選挙用積立金、退職金積立金、納税準備金
小計	5,135,641	
次期繰越金	450,971	
合計	5,586,612	

II 積立特別会計 単位:円		
項目	決算額	備考
前期繰越	3,597,000	
支出	3,155,243	選挙費用、退職金、市民税
一般会計より繰入	348,243	
次期繰越	790,000	

市民ネットは代理人(議員)の報酬を活動資金として活用し、会計の流れを透明化、情報公開しています。

政務活動費は、会派に出ているので、個人では使っていません。